



【もりおか もな さん】 向陽台／千歳高等学校放送局所属  
●昨年秋の高文連放送コンテストではアナウンス部門に出場。同コンテストの全道大会では閉会式の司会に抜擢されるなど、これからの活躍が期待されています。

「明るく、元気に、前向きに」  
わかりやすく伝わる放送を

# 千

歳高等学校には、運動系・文化系など34の部活動団体があり、たくさん生徒が熱心に活動に取り組んでいます。放送局は、現在17人の生徒が所属し、基本となる発声練習や放送コンテストへ向けた番組づくり、昼休みの校内放送、地域の行事の司会などの活動を行っています。

最近では、さまざまな放送コンテストで入賞するなど、輝かしい成績を残している放送局。森岡さんは、昨年秋に開催された高文連放送コンテストの全道大会ラジオ番組部門で、最優秀賞を受賞した作品『街が繋ぐ幽玄の調べ』のナレーションを担当するなど、千歳高校放送局のこれからの担うひとりとして期待されている一年生です。

「高校では、放送局に入部すると決

めていました。入部する前に聞いていたとおり活動は忙しいですが、同じ目標を持った良い仲間に出会って、今とはにかく楽しく、充実した毎日です」と明るく透き通った声で話します。

コンテストの作品や日常の校内放送など、番組の企画や取材、制作はすべて生徒たちが自ら行っています。

『街が繋ぐ幽玄の調べ』は、千歳神社の雅楽会の活動を取り上げた作品で、森岡さんが企画しました。「作品を通じて、あらためて雅楽について深く知ることができました。雅楽のほか日本舞踊や華道、茶道など、日本の伝統文化・芸術について、ぜひ、たくさんの方に知ってもらいたいですね」と話します。

現在は特にアナウンスに力を入れて

います。「放送は、聞いている方が理解して初めて意味のあるものになります。自己満足で終わらないように気を付けています」と森岡さん。

わかりやすく伝えるためには、日々の発声練習や体力トレーニングは欠かせません。「楽器と同じで、毎日お腹から声を出して練習をしないと、すぐに滑舌が悪くなり、自分の良くない癖が出てしまいます」と話します。

「今後はもっと放送が上手になること、そして、つぎのコンテストでは、アナウンス部門で全国大会に出場することが目標です。また、放送局員として、取材や編集などの番組制作にも積極的に参加し、いつか自分の手で企画した番組を制作してみたいですね」と希望に満ちたまなざしで語ってくれました。

人 の い る 風 景

SCENERY OF PEOPLE



MONA  
MORIOKA

森岡

萌奈

さん